

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	小林議員 (自民党)	1 国勢調査と東京都偏在税制について 2 人生の最終インフラとしての火葬行政について 3 和泉小学校・和泉公園一体整備に伴う公園閉鎖期間中における子どもの遊び場確保及び地域防災機能の維持・強化について	①令和7年国勢調査結果を踏まえた昼夜間人口及び首都中枢機能に係る行政需要の認識について ②税源偏在是正措置による財政影響について ③昼間人口及び首都中枢機能を反映した新たな財政需要算定制度について ④東京都及び特別区と連携した国への制度提案について ①将来人口推計及び死亡者数を踏まえた火葬需要の見通しについて ②火葬待機日数及び利用料金の現状認識と課題について ③火葬事業の公共性向上及び公営施設整備に係る東京都との連携について ④広域的な費用負担制度及び運営体制の構築について ⑤火葬能力確保、料金安定化及び災害時対応について ①和泉公園閉鎖期間中における子どもの遊び場確保について ②旧和泉町ポンプ所跡地の活用及び代替機能の確保について ③秋葉原公園の親水機能整備及び代替公園としての活用について ④岩本町馬の水飲広場の有効活用について ⑤和泉橋地域における公園・広場機能の再編及び遊び場ネットワークの構築について ⑥教育環境の向上と遊び場環境の確保の両立について ⑦和泉小学校・和泉公園・三井記念病院が担う地域防災及び地域医療連携機能の維持について ⑧和泉公園閉鎖期間中における防災機能の代替措置及び地域防災力の維持について ⑨他自治体事例を踏まえた公園機能及び防災機能の維持向上について	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
2	池田議員 (自民党)	・ 公衆トイレの整備について ・ 世代間交流の醸成について	・ 清掃業務、適正配置の見直しなど現状の課題は。 ・ インバウンド向けの整備状況は。 ・ 有料公衆トイレの維持管理について ・ 高齢者や障害者、医療ケアが必要な方向けの介助用ベッドの設置について。 ・ 区内で広がる健康マージャン教室、高齢者だけでなく現役世代、子どもたちまで多世代にわたる交流の場となり頭脳スポーツ、生涯スポーツとして地域コミュニティの輪が広がる世代間交流健康マージャン大会の開催等見解を求める。	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

3	白川議員 (自 民)	(1) 平和教育は安全保障環境や、複数の見解を教材として扱い、多面的・多角的に考察する力を育成するべきでは？ (2) 平和使節団の事前学習および現地での案内・説明について、政治的中立性をどのように担保していくのか、具体的に。 (3) 小中学校の修学旅行などにおける平和教育の現状は？ (1) 工事の着工・完成が1年遅れた場合、現時点でどの程度のコスト増が見込まれるか？ (2) 実勢価格の反映や発注方式の工夫、指名競争入札・随意契約の積極的な活用も含め、入札制度を見直すべきでは？ (3) 区内で現在進行中、または計画段階にある主要な再開発案件について、意思決定の遅延が生じている場合、その主要因をどう分析しているか？ (4) OSS マニュアルを踏まえて、今後、議論や審議の効率化に進めるための対策を立てるか？	1. 平和教育について ・本年3月16日に沖縄県名護市辺野古沖で民間船2隻の転覆によって痛ましい死亡事故が起きた。 ・私が沖縄で見聞きした実態と、報道や平和教育とのギャップがあまりにも大きい。 ・言論の自由を重んじる日本の教育において、イデオロギーは極力排すべきであり、平和教育もその例外であってはならない。 ・一方の立場の主張のみを学ばせるのではなく、対立する両論を知ることが不可欠。 2. 公共事業における決定と実行のあり方について ・コストプッシュインフレにより工事が遅れるほどコストが増大している。 ・「千代田区だから入札しない」という企業が存在。 ・競争入札が必ずしもコストを下げるのに有効であるとは限らなくなった。 ・入札のあり方そのものを構造問題として考え直す必要がある。 ・意思決定や実行にスピーディさが求められる。 ・議論と妨害は本質的に異なる。 ・CIAの前身であるOSSが作成したSimple Sabotage Field Manualは議論を生産的にするために参考になる。 ・議論において効率性を求めないと、血税を無駄にすることになる。	区 教 育 長 関 係 理 事 者
---	---------------	---	--	----------------------

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

4	えごし議員 (公 明)	健康づくりへの支援 防災対策	■日常生活における活動や運動などの「身体活動」は、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防だけでなく、うつや不安の症状の軽減や、思考力、学習力、総合的な幸福感を高めることに繋がると言われている。 近年、運動不足や身体活動量の低下が課題とされており、厚労省（令和5年）の調査では特に20代、30代の若者・現役世代ほど運動習慣が少ないとの結果も出ている。若年期からの健康づくりは、将来の医療費・介護費削減にも繋がり重要な取組と考えるが、区民の健康づくりへの支援について、区の考えを伺う。 ① 若者・現役世代の健康づくりについて、区はどのように考えているか。 ② 若者・現役世代の運動促進への支援について ③ シニア世代へのさらなる運動支援（マシン運動） ■台風や大雨災害における区の対応について伺う。 ① 警戒レベルに応じた避難について ・避難指示の内容をどのように決定するか ・「住民がとるべき行動」への丁寧、具体的な説明 ・流域や浸水予想の地図などの簡明な情報提供 ② 防災アプリの機能拡充、活用の徹底・周知 ・アプリでマイタイムラインの作成、情報の通知 ・スマホ教室（ステップアップ講習会）や防災イベントでのアプリを使った防災講習	区 長 関 係 理 事 者
5	富山議員 (自 民)	中高生専用の居場所(サードプレイス)について スペシャルニーズのある中高生が地域で共に過ごせる居場所と共生社会の実現について	・千代田区及び他自治体における中高生の居場所施策について ・旧九段中学校を活用した中高生の居場所事業（プレ施設）の目的及び本格実施に向けた検証について ・医療的ケア等のある中高生の利用を想定した施設整備及び運営体制について ・障害のある中高生の居場所事業と地域の児童館等の利用について ・区立施設における人員配置及び人材育成について ・18歳になってからではなく、子どもの頃から共に育つ共生社会、インクルーシブ社会の実現について	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

6	小枝議員 (声)	1、神保町まちづくり ー対話と調整のあり方ー 2、千代田区官製談合の真実	1) 国と東京都のまちづくり制度が、昨今リノベーション型に大きくシフトしている。建築分野の CO2 排出量の可視化(エンボディッド・カーボン)も進み、既存ビルへの省エネ・再エネの補助が手厚くなるなど、時代は大きな転換点にあり、千代田区も同様と評価。 「神保町ルール」は、改築・保全の誘導バランスが極めて重要で、評価すべき点もある一方、行き過ぎた緩和策で魅力を損ってしまうと心配の声もある。対話と調整が極めて重要。区の考え及び日程は如何に。 2) 一方「固定資産税の負担等」が商業地にのしかかり、商売の継承が困難な状況。バブルの教訓踏まえ区をあげて防御策が必要。他、商店街の聞き取り、木造耐震助成の拡充、歴史まちづくりなど区の認識を問う。 1) 2つの重大な事実が明らかになった。①2年前、区が発表した「再発防止検討報告書」の元になった野々上弁護士との報告書には、事実認定に留保が付されていたが千代田区はこれを伏せていた②1年半前、区長の元で刑事確定記録を閲覧入手していたことを伏せていた、議会の前提が覆った、真実は何かを問う。 2) 公益通報は損なわれた尊厳を回復する最後の手段。私自身が入手した確定記録をもとに真実を問う。	区 長 関 係 理 事 者
7	岩佐議員 (次世代)	1. カザルスホールを契機とした文化芸術振興政策の強化と推進体制の整備について 2. おひとりさま高齢者支援について 3. ゆとりちよだの機能強化について 4. 猛暑下で働く現業職員への支援強化について	カザルスホールという優れた文化資産を活用し、本区の文化芸術振興政策を今後どのように展開していくのか。単なる施設運営にとどまらない「芸術と文化のまち千代田」の将来像と推進体制について問う。 改正社会福祉法により、身寄りのない高齢者への入院・入所支援や死後事務支援が制度化された。見守り・相談・支援体制をどのように構築していくのか問う。 ゆとりちよだを活用した中小企業支援の強化について、地域コミュニティ形成や防災力向上にも資する新たな福利厚生のあるあり方を問う。 猛暑が常態化している中、屋外での作業や高温環境下での業務に従事する職員への夏季作業手当について問う	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

8	おのでら議員 (次世代)	路上喫煙の罰則と対策について 私立等幼稚園に通う子どもへの経済的支援 路上弁当販売に対する食品衛生監視指導 選挙ポスター掲示板の設置	・路上喫煙の取り締まり件数は増加傾向にある。物価上昇や円安進行も勘案し、より抑止力のある過料水準に引き上げる必要があると考えるが、検討状況は。 ・吸い殻のポイ捨て状況を見るに夜の取り締まりが必須と考える。人員体制を強化し、夜間やイベント開催時の取り締まり強化を行うべきでは。 ・公立・私立学校の支援の差の均衡を図ることを目的に私立小中学校等に通う児童生徒に対して給食費・教材費相当額の電子商品券が交付される。区立幼稚園では給食や弁当を無償で提供しているが、私立園等に通っている子どもへの支援も同様に行うべきでは。 ・本区では私立幼稚園等保護者負担軽減事業が行われてきたが、補助額は他区よりも低い水準である。見直しの必要性について区の見解は。 ・暑さが長く厳しくなる中、路上での弁当販売やキッチンカーにおける衛生管理に問題はないか。食中毒の発生状況は。監視・指導強化の必要性について伺う。 ・他自治体において設置数を減らす動きがある。本区では近接する箇所にも設置を行ってきたが、見直しを行うべきでは。設置箇所を削減する場合、調整や周知をどのように行っていくか。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
9	田中議員 (国 民)	千代田区における包括的「おひとりさま政策」の推進について コインパーキング式（一時利用）自転車駐輪場の空白地帯への設置促進について	全国平均や東京都の平均と比べても非常に高い割合の単身者世帯を抱える本区の現状に即し、他自治体に先駆けた対策の推進について問う ・若年層を含む単身世帯の孤立・緊急対策について ・デジタル技術を活用した孤独孤立対策と見守りの推進について ・千代田区独自の終活登録制度について ・居住安定支援等の拡充と今後の住まいのセーフティネットについて ・区内の既存設置箇所の分布にかなりの偏重がある現状と、新規設置が滞っている現状等を鑑み、区民のニーズに応える改善策の実施について問う	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

10	牛尾議員 (共産党)	(1) 物価高やイラン戦争の影響から事業者や医療機関を守る施策について (2) まちづくりと住宅施策について (3) 平和教育、主権者教育について	① 資材の高騰や資材不足の影響を事業者等から聞き取るなど調査を。 ② 国や都に事業者への支援を求めよ。 ③ 区独自の支援策を求める。 ① 再開発事業についていくつか質問する。 ② 区の住宅施策について質問する。 ① 区の平和教育や主権者教育について問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
11	桜井議員 (自 民)	○区の国民健康保険における外国人の保険料収納対策について ○新しい防災気象情報と区の対応について	○外国人の国保料収納率は全国で低く、高い収納率を維持する本区でも、日本人より約1割低い。 加入者増・医療費高止まりの中、制度の安定運営のためには、公平性を確保しつつ外国人収納率の底上げが課題であり、対策を検討してはどうか。 ○現在の千代田区の国民健康保険料の収納状況から、区の課題認識について問う ○また、区として課題に対しての解決策はいかに ○今回の変更はこれまでの防災気象情報が複雑で分かりにくく、変更によって自治体の避難指示や住民の避難行動に直結しなかった課題を解消するとしている。 ○今回、台風六号での気象状況は指標が変わって初めてのケースとなったが高齢者や障がい者に対しても十分な説明ができていたのか。 ○防災放送は命を守るためにも大切な情報だが、今後、区は避難指示をどのように受け止め、対応されるのか。避難時の高齢者や障がい者の不安を払拭するために要支援者への対応をどのようにされるのか。 ○土砂災害に繋がる崖地や都心部に多いアンダーパス、地下施設の多い本区では危険地域と思われる場所はどのくらい把握されているのか。 ○ハザードマップや防災アプリをチェックして有事に何をすべきかを常に検討しておくことは大切。区として今後の防災対策について問う。	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

12	のざわ議員 (維 新)	1. 千代田区行政サービスを、「申請主義」から、「プッシュ型行政サービス」実現へ 2. 学生のボランティア活動デジタル証明書の発行 3. 「日本成長戦略」原案に鑑みた、金融教育について 4. 全区民を対象とした「一人一個、自転車・防災兼用ヘルメット配布」事業創設について	(1) 出生・子育て初期に関するプッシュ型支援について (2) 保育・幼児教育に関するプッシュ型支援について (3) 入学・就学期の支援について (4) 若者・学生・就労支援に関するプッシュ型施策について (5) 妊娠・出産・子育て家庭への継続的な伴走支援について (6) 高齢者・介護予防に関するプッシュ型支援について (7) 障害福祉・生活困窮・ひとり親支援について (8) 転入者への生活支援パッケージについて (9) 災害・防災に関する個別最適な通知について (10) 終活・死亡後手続きに関する支援について (11) 実現に向けた基盤整備について (12) 今後の進め方について (1) 新技術を活用した改ざん困難なデジタル証明書について (1) 区立小中学校における金融教育のさらなる充実について問う。 (1) 実現に向けた考え方を問う。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
----	----------------	---	--	------------------------------------

発言通告書（総括表）

令和8年第2回定例会 一般質問

13	小野議員 (次世代)	1, 千代田区の未来を創る職員の活躍について 2, 持続可能な地域活動に向けた支援のありかたについて 3. 高齢者目線で考えるフレイル予防に有効な情報提供について 4, 環境施策について 5, 防災減災の取組みについて	(1)千代田区役所職員として活躍するための意識の醸成と基礎力強化 ・パーパスやレイアウト変更などの取組みの先に想定する成果を伺う (2)ラストワンマイルの達成に必要なマインドとスキル ・区民との接点を育成計画に盛り込み当事者目線を醸成してはいかがか ・町の声、庁内の声を次の施策につなげるファシリテーターの内製化を検討してはいかがか (1)町会活動のお困りごとに添った解決策事例の見える化 ・町会支援プログラムの実際のプロセスを分かりやすくまとめてはいかがか 事例:地縁団体認可や各種推進を後押しする助成など (1)地域と関わりの薄い高齢者や独居の方が地域に出やすくなるよう情報の届け方にも工夫が必要と考えるが区の見解を伺う (1)ヒートアイランド対策の推進と酷暑対策の推進 (2)イベントゴミの軽減とリユース備品貸し出しサービスの利用促進 (1)子どもや子育て世帯の防災減災意識の向上と地域の防災訓練について	関係理事者
14	岩田議員 (次世代)	『こども誰でも通園制度』について 『二番町再開発』について 『千代田区官製談合事件』について	すべての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにかかわらず利用できる環境を提供することを目的とした制度であるにもかかわらず、通園できない子供がいるのではないかと。 また、区の対応と今後について問う。 『二番町再開発』における、『番町次世代シンポジウム』のあり方・内容・今後の対応などについて問う。 委託契約書についてなど明らかにすべき点を改めて問うとともに、自分の閲覧してきた刑事確定記録を基に疑問点について問う。	区教育長 関係理事者